



サーバのプロパティの表示

この章は、次の項で構成されています。

- [Viewing Server Utilization](#) (1 ページ)
- [CPU のプロパティの表示](#) (3 ページ)
- [メモリのプロパティの表示](#) (4 ページ)
- [PCI アダプタのプロパティの表示](#) (7 ページ)
- [ストレージのプロパティの表示](#) (8 ページ)
- [TPM のプロパティの表示](#) (9 ページ)
- [PID カタログの表示](#) (10 ページ)

Viewing Server Utilization

手順

ステップ 1 [ナビゲーション (Navigation)] ペインの [シャーシ (Chassis)] メニューをクリックします。

ステップ 2 [Chassis] メニューの [Summary] をクリックします。

[概要 (Summary)] ノードは、[シャーシ プロパティ (Chassis Properties)]、[シャーシ ステータス (Chassis status)]、[Cisco IMC 情報 (Cisco IMC Information)]、[電源使用率 (Power Utilization)]、[サーバ使用率 (Server Utilization)] についての情報を提供します。

システムの CPU、メモリ、および I/O 使用率のリアルタイムの監視が、[1 秒あたりのコンピュータ使用状況 (CUPS) (Computer Usage Per Second (CUPS))] として提供されます。これは OS からは独立しており、CPU リソースを消費しません。

Cisco のサーバは以下のセンサーをモニタします。

プラットフォーム CUPS センサー：計算、メモリ、および I/O リソース使用率の値を、プラットフォーム CUPS インデックスの形式で提供します。

コア CUPS センサー：計算使用率の値を提供します。

メモリ CUPS センサー：メモリ使用率の値を提供します。

IO CUPS センサー：I/O リソース使用率の値を提供します。

(注) CUPS センサーはハードウェア レベルのセンサーであり、値は OS ベースのツールからの値とは一致しません。

これらの使用率の値は、プラットフォームの構成要素（CPU とチップセット）によって提供される専用のサイドバンドテレメトリカウンタのセットからのデータを照会して取得されます。これらのカウンタはリソース モニタリング カウンタ（RMC）と呼ばれます。

RMC は、3 つの主要なプラットフォーム リソースの分野である CPU、メモリ、および I/O に関連するリアルタイムの情報を提供します。これらの分野のそれぞれの使用率情報は、リソース インスタンス レベルの個別のカウンタを集約して取得されます。

ステップ 3 [サーバ使用率（Server Utilization）] 領域で、次の情報を確認します。

名前	説明
全体の使用率 (%)	CUPS インデックスとして測定されます。これは、プラットフォーム使用率の高レベル アセスメントを手早く提供するために使用される複合メトリックです。CUPS インデックスは、したがって、サーバで使用可能な計算能力の余裕の尺度です。そのため、システムが大きな CUPS インデックスを示す場合、システムに追加の負荷をかけるには限られた余裕しかないということになります。リソース消費が減少すると、システムの CUPS インデックスは低下します。低い CUPS インデックスは、計算能力に大きな余裕があることを示しており、そのサーバが、新たなワークロードを受け取る、あるいは、電力消費を減らすためにワークロードを他へ移してサーバの電力の状態をより低くする際の主要な対象となることを示しています。こうしたワークロードのモニタリングは、データセンターのワークロードについての高レベルで包括的な視点を提供するために、データセンター全体で適用できます。
CPU Utilization (%)	CPU RMC は CPU 使用率のメトリックを提供します。これらは、集約された個別の CPU コア カウンタであり、パッケージ内のすべてのコアの累積的な使用を可能にします。

名前	説明
メモリ使用率 (%)	メモリ RMC はメモリ使用率のメトリックを提供します。これらは、各メモリ チャンネルまたはメモリ コントローラのインスタンスで発生するメモリのトラフィックを測定する個別のカウンタです。これらは集計されて、パッケージ内のすべてのメモリ チャンネルの累積メモリトラフィックを測定します。
I/O 使用率 (%)	IO RMC は IO 使用率のメトリックを提供します。これらは、PCI Express ルートコンプレックスのルートポートごとに 1 つある個別のカウンタであり、当該のルートポートおよびその下のセグメントから生じる、またはそれらに向けられる PCI Express のトラフィックを測定します。これらのカウンタは集計されて、パッケージから生じるすべての PCI Express セグメントの PCI express トラフィックを測定します。PCI Express ルートポートは 1 つの PCI セグメントを表しており、そのため、そのセグメントによって生じるトラフィック全体を搬送する単一の中心的なコンポーネントということになります。

CPU のプロパティの表示

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。
- ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。
- ステップ 3 [Inventory] ペインの [CPUs] タブをクリックします。
- ステップ 4 各 CPU で次の情報を確認します。

名前	説明
[Socket Name] フィールド	CPU が装着されているソケット
[Vendor] フィールド	CPU のベンダー
[Status] フィールド	CPU のステータス。

名前	説明
[Family] フィールド	この CPU が属するファミリー。
[Version] フィールド	CPU のバージョン情報。
[Speed] フィールド	CPU の速度（メガヘルツ単位）。
[Number of Cores] フィールド	CPU のコアの数
[Signature] フィールド	CPU の署名情報。
[Number of Threads] フィールド	CPU が同時に処理できる最大スレッド数

メモリのプロパティの表示

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。

ステップ 3 [Inventory] ペインの [Memory] タブをクリックします。

ステップ 4 [Memory Summary] 領域で、メモリに関する次のサマリー情報を確認します。

名前	説明
[Memory Speed] フィールド	メモリ速度（メガヘルツ単位）。
[Total Memory] フィールド	すべての DIMM が完全に機能している場合に、サーバで利用できるメモリの合計量。
[Effective Memory] フィールド	<p>現在サーバが使用できる実際のメモリの量。</p> <p>サーバに Intel® Optane™ DC 永続メモリモジュールが搭載されている場合、有効なメモリは次のように計算されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • メモリ モードまたは混合モード: すべての DCPMM メモリのおおよその合計です。 <p>(注) メモリモードと混合モードは、一部のサーバでのみ使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Appdirect モード: すべての DCPMM メモリと DRAMS メモリのおおよその合計です。

名前	説明
[Redundant Memory] フィールド	冗長ストレージに使用されるメモリの量。
[Failed Memory] フィールド	現在障害が発生しているメモリの量（メガバイト単位）。
[Ignored Memory] フィールド	現在使用できないメモリの量（メガバイト単位）。
[Number of Ignored DIMMs] フィールド	サーバがアクセスできない DIMM の数。
[Number of Failed DIMMs] フィールド	障害が発生し、使用できない DIMM の数。
[使用可能なメモリ RAS (Memory RAS Possible)] フィールド	サーバでサポートされている RAS メモリ構成の詳細。
[メモリの設定 (Memory Configuration)] フィールド	<p>現在のメモリ設定。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [最大パフォーマンス (Maximum Performance)] : システムは自動的にメモリのパフォーマンスを最適化します。 • [ミラーリング (Mirroring)] : サーバはメモリ内のデータのコピーを 2 つ保持します。このオプションを使用すると、サーバ上の使用可能なメモリが等分され、その半分はミラー コピー用に自動的に予約されます。 • [Lockstep] : サーバ内の DIMM ペアが、同一のタイプ、サイズ、および構成を持ち、SMI チャネルにまたがって装着されている場合、ロックステップモードをイネーブルにして、メモリ アクセス遅延の最小化およびパフォーマンスの向上を実現できます。
[DIMM location diagram]	現在のサーバの DIMM またはメモリのレイアウトを示します。

ステップ 5 [DIMM Black Listing] 領域で、DIMM の全体的なステータスを確認し、DIMM のブラックリスト化をイネーブルにします。

名前	説明
[Overall DIMM Status] フィールド	<p>DIMM の全体的なステータス。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [良好 (Good)] : DIMM ステータスは使用可能です。 • [Severe Fault] : 修正不可能な ECC エラーがある場合の DIMM ステータス。

名前	説明
[DIMM のブラックリストのイネーブル化 (Enable DIMM Black List)] チェックボックス	DIMM のブラックリスト化を有効にする場合はこのオプションをオンにします。

ステップ 6 [Memory Details] テーブルで、各 DIMM に関する次の詳細情報を確認します。

ヒント カラムの見出しをクリックすると、そのカラムのエントリに従って表の行がソートされます。

名前	説明
[Name] カラム	メモリ モジュールが装着されている DIMM スロットの名前
[Capacity] カラム	DIMM のサイズ。
[Channel Speed] カラム	メモリ チャンネルのクロック速度（メガヘルツ単位）。
[Channel Type] カラム	メモリ チャンネルのタイプ。
[Memory Type Detail] カラム	デバイスで使用するメモリのタイプ。
[Bank Locator] カラム	メモリ バンク内の DIMM の場所。
[Manufacturer] カラム	製造業者のベンダー ID。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [0x2C00] : Micron Technology, Inc. • [0x5105] : Qimonda AG i. In. • [0x802C] : Micron Technology, Inc. • [0x80AD] : Hynix Semiconductor Inc. • [0x80CE] : Samsung Electronics, Inc. • [0x8551] : Qimonda AG i. In. • [0xAD00] : Hynix Semiconductor Inc. • [0xCE00] : Samsung Electronics, Inc.
[Serial Number] カラム	DIMM のシリアル番号。
[Asset Tag] カラム	DIMM に関連付けられた資産タグ（存在する場合）。
[Part Number] カラム	ベンダーによって割り当てられた DIMM の部品番号。
[Visibility] カラム	DIMM がサーバに対して使用可能であるかどうか。
[Operability] カラム	DIMM が現在正常に動作しているかどうか。

名前	説明
[Data Width] カラム	DIMM がサポートするデータの量（ビット単位）。

PCI アダプタのプロパティの表示

始める前に

サーバの電源をオンにする必要があります。そうしないと、プロパティが表示されません。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。
- ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。
- ステップ 3 [Inventory] ペインの [PCI Adapters] タブをクリックします。
- ステップ 4 [PCI Adapters] 領域で、装着されている PCI アダプタの次の情報を確認します。

名前	説明
[Slot ID] カラム	アダプタが存在するスロット。
[Product Name] カラム	アダプタの名前。
[Option ROM Status] カラム	オプションの ROM のステータスを示します。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none">• [Loaded] : データはカード内で使用可能です。• [Unloaded] : データはカード内で使用できません。• [Load Error] : カードが存在し、オプションの ROM が有効になっています。しかし、オプションの ROM は、カード内のエラーのために読み込みに失敗しました。
[Firmware Version] カラム	アダプタのファームウェアバージョン。 (注) 標準の UEFI インターフェイス経由でバージョンを提供するアダプタのファームウェアバージョンのみ表示されます。たとえば、Intel LOM や Emulex アダプタなどです。
[Vendor ID] カラム	ベンダーによって割り当てられたアダプタ ID。

名前	説明
[Sub Vendor ID] カラム	ベンダーによって割り当てられているセカンダリ アダプタ ID。
[Device ID] カラム	ベンダーによって割り当てられたデバイス ID。
[Sub Device ID] カラム	ベンダーによって割り当てられているセカンダリ デバイス ID。

ストレージのプロパティの表示

始める前に

サーバの電源をオンにする必要があります。そうしないと、プロパティが表示されません。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Compute] メニューをクリックします。

ステップ 2 [コンピューティング (Compute)] メニューでサーバを選択します。

ステップ 3 作業ウィンドウの [Inventory] タブをクリックします。

ステップ 4 [ストレージ (Storage)] タブで、次の情報を確認します。

名前	説明
[コントローラ (Controller)] フィールド	コントローラ ドライブが存在する PCIe スロット。
[PCIスロット (PCI Slot)] フィールド	コントローラ ドライブが配置されている PCIe スロットの名前。
[製品名 (Product Name)] フィールド	コントローラの名前。
[シリアル番号 (Serial Number)] フィールド	ストレージ コントローラのシリアル番号。
[ファームウェアパッケージビルド (Firmware Package Build)] フィールド	アクティブなファームウェア パッケージのバージョン番号。
[製品ID (Product ID)] フィールド	コントローラの製品 ID。

名前	説明
[バッテリーのステータス (Battery Status)] フィールド	バッテリーのステータス。
[キャッシュメモリサイズ (Cache Memory Size)] フィールド	キャッシュメモリのサイズ (MB 単位) 。
[状況 (Health)] フィールド	コントローラのヘルス状態。

TPM のプロパティの表示

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。

ステップ 3 [Inventory] ペインの [TPM] タブをクリックします。

ステップ 4 次の情報を確認します。

名前	説明
[Version] フィールド	TPM のバージョン。TPM のバージョン詳細情報が使用できない場合、このフィールドには NA と表示されます。
[Presence] フィールド	ホスト サーバでの TPM モジュールの有無。 <ul style="list-style-type: none"> • [Equipped] : TPM はホスト サーバにあります。 • [Empty] : TPM はホスト サーバにありません。
[Model] フィールド	TPM のモデル番号。TPM がホスト サーバにない場合、このフィールドには NA と表示されます。
[有効になっているステータス (Enabled Status)] フィールド	TPM がイネーブルかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enabled] : TPM はイネーブルです。 • [Disabled] : TPM はディセーブルです。 • [Unknown] : TPM はホスト サーバにありません。
[Vendor] フィールド	TPM ベンダーの名前。TPM がホスト サーバにない場合、このフィールドには NA と表示されます。

名前	説明
[アクティブ ステータス (Active Status)] フィールド	<p>TPM のアクティベーション ステータス。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Activated] : TPM はアクティブです。 • [Deactivated] : TPM は非アクティブです。 • [不明 (Unknown)] : TPMはホストサーバにありません。 <p>(注) TPM バージョン 2.0 をインストールしている一部の C シリーズ サーバでは、[Active Status] は [NA] として表示されます。</p>
[Serial] フィールド	<p>TPM のシリアル番号。TPM がホスト サーバにない場合、このフィールドには NA と表示されます。</p>
[所有権 (Ownership)] フィールド	<p>TPM の所有ステータス。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Owned] : TPM は所有されています。 • [Unowned] : TPM は所有されていません。 • [不明 (Unknown)] : TPMはホストサーバにありません。 <p>(注) TPM バージョン 2.0 をインストールしている一部の C シリーズ サーバでは、[Ownership] ステータスは [NA] として表示されます。</p>
[Revision] フィールド	<p>TPM の改訂番号。TPM がホスト サーバにない場合、このフィールドには NA と表示されます。</p>
[Firmware Version] フィールド	<p>ファームウェア バージョンの詳細。</p>

PID カタログの表示

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Compute] タブをクリックします。

ステップ 2 [Compute] 作業領域で、[PID Catalog] タブをクリックします。

ステップ 3 PID カタログについて次の概要情報を確認します。

- **アクティベーション ステータス** : PID カタログのアクティベーション ステータス。
- **現在アクティブなバージョン** : アクティブな PID カタログのバージョン。

ステップ 4 [CPU] の表で、CPU に関する次の情報を確認します。

名前	説明
[ソケット名 (Socket Name)] カラム	CPU が装着されているソケット
[Product ID] カラム	CPU の製品 ID。
[Model] カラム	CPU のモデル番号。

ステップ 5 [Memory] テーブルで、メモリに関する次の情報を確認します。

名前	説明
[名前 (Name)] カラム	メモリ スロットの名前。
[Product ID] カラム	ベンダーによって割り当てられたメモリ スロットの製品 ID。
[Vendor ID] カラム	ベンダーによって割り当てられた ID。
[Capacity] カラム	メモリのサイズ。
[速度 (MHz) (Speed (MHz))] カラム	メモリ速度（メガヘルツ単位）。

ステップ 6 [PCI Adapters] テーブルで、PCI アダプタに関する次の情報を確認します。

名前	説明
[Slot] カラム	アダプタが存在するスロット。
[Product ID] カラム	アダプタの製品 ID。
[Vendor ID] カラム	ベンダーによって割り当てられたアダプタ ID。
[Sub Vendor ID] カラム	ベンダーによって割り当てられているセカンダリ アダプタ ID。
[Device ID] カラム	ベンダーによって割り当てられたデバイス ID。
[Sub Device ID] カラム	ベンダーによって割り当てられているセカンダリ デバイス ID。

ステップ 7 [HDD] テーブルで、HDD に関する次の情報を確認します。

名前	説明
[ディスク (Disks)] カラム	ハードドライブのディスク。
[Product ID] カラム	ハードドライブの製品 ID。

名前	説明
[コントローラ (Controller)] カラム	選択した Cisco Flexible Flash コントローラのシステム定義の名前。この名前は変更できません。
[Vendor] カラム	ハード ドライブのベンダー。
[Model] カラム	ハード ドライブのモデル。
